

【災害に備え総合防災訓練を実施】



放水訓練を行う消防団員

市は、9月2日、胆沢総合支所などを会場に市総合防災訓練を実施しました。火災防衛、救出訓練では、同支所で火災が発生したことを想定し、中継送水から放水まで実践しながらの訓練を行いました。小山地区センターでは婦人消防協力隊連合会による炊き出し訓練なども行われ、地域の防災に対する意識がさらに高まりました。

【一万年の森で植樹】



成長を願い丁寧に苗木を植える参加者

第5回奥州万年の森植樹祭（同実行委員会主催）が9月9日、前沢区字石田の奥州万年の森公園で行われました。市内外から参加した約200人が、コナラやミズナラ、ヤマモミジ、クリ、クヌギ、ヤマザクラなど約3000本の苗木を未植栽地の約20㍍に植樹しました。エコグループの仲間と参加した小野寺未羽さん（前沢小3年）は「木を植えるのは初めて。どんなに大きくなっていくか、また見に来たい」と成長を楽しみにしていました。

【藤里地区センターの完成を祝う】



完成した藤里地区センターの外観

藤里地区センター落成記念式典を9月9日、同センターを会場に開催しました。地元関係者ら約70人が出席し、地域拠点の完成を祝いました。同センターは、昨年の東日本大震災による被害で建て直しが必要となり、ことし2月に解体して3月に改築工事を着工、7月末に完成しました。研修会や放課後児童クラブなどにも活用される予定です。

【岩谷堂小学校落成記念式典】

岩谷堂小学校（堀籠智志校長、児童625人）の新校舎落成記念式典を9月29日、同校体育館で開き、約300人が出席して学びやの完成を祝いました。同校はことし1月に校舎が、8月31日に屋外施設が完成しました。式典では、6年生児童が旧校舎への感謝の言葉と合唱を披露。輝かしい歴史と伝統を受け継ぐことを誓いました。



「Forever」を合唱する児童ら

【市建設業協会と災害時協定を再締結】



固い握手をする高橋健二会長と小沢昌記市長

市と市建設業協会（高橋健二会長）は、9月20日、災害時における応急対策業務に関する協定を再締結しました。これは、昨年発生した東日本大震災を受けて、平成21年に締結した内容の見直しを行い、再度協定を結んだものです。これにより、協定内容の充実が図られ、有事の際にはスムーズな災害対応が期待されます。

【早大競走部によるランニング教室】



模範を示す早稲田大学競走部員

早稲田大学競走部によるランニング教室（市・市体育協会主催）が9月16日、前沢グリーンアリーナで開催され、市内の小中学生51人が参加しました。同競走部の渡辺康幸駅伝監督や一軍メンバー16人が、ストレッチや走りの基本などを、ゲームを交えながら指導。箱根駅伝の走りを学ぼうと、参加者全員が真剣に取り組んでいました。

【おめでどう！百歳を祝い3人に記念品】

市は、9月に満百歳を迎えた3人に記念品を贈り、長寿を祝いました。村上トシさん（胆沢区南都田字糍谷田）は同区若柳に生まれ、17歳で故・浅吉さんと結婚。3男5女をもうけ、孫14人、ひ孫23人、やしやご10人に恵まれました。浅吉さんと二人三脚で農業に従事、44歳のときに浅吉さんが亡くなった後も懸命に働きました。若いときから編み物が趣味で、今でもチョッキやひざ掛けなどを手際よく作っています。



記念品を受け取りほほ笑む充子さん

朝5時に起床し、台所の床をほうきで掃くことが日課。長寿の秘訣は早寝早起きと腹八分目の食事をとることです。及川トミさん（江刺区岩谷堂字下惣田）は同区六日町の呉服屋に生まれ、24歳で故・菊地貞三郎さんと結婚。4女をもうけ、孫5人、ひ孫3人に恵まれました。郵便局勤務の貞三郎さんを呉服を仕立てる内職で支え、貞三郎さんが亡くなると、女手一つで娘を嫁がせました。好奇心が旺盛で、東北新幹線の一歩列車に乗った証明書が宝物です。長生きの秘訣は腹八分の食事と友人に恵まれて旅行などを楽しんだことです。



設立総会で挨拶する小沢市長

平成28年に県内で開催される第71回国民体育大会の、市準備委員会設立総会が9月27日、市内ホテルで行われました。同委員会は、市内の競技団体、民間団体や企業など関係者166人で構成。会長に小沢昌記市長が就任し、市民総参加による大会を目指して活動します。同団体では、ボクシングなどの7競技が、市内を会場に行われる予定です。



家族や親戚にお祝いされるトシさん

藤原充子さん（水沢区羽田町）は花巻市大迫町に生まれ、24歳で故・源蔵さんと結婚。旧胆沢町の保健師として定年まで働き、その後も看護師として仕事を続けました。趣味はちぎり絵、押し花、手芸。今でも月1回の押し花同好会に参加しています。長寿の秘訣は、趣味を楽しみながら過ごすことです。



ろうそくの火を吹き消すトミさん